

# 下水道ビジョンと中期経営計画策定について

## 令和2年度

11月25日 今後の下水道事業における整備と運営のあり方について（諮問）

具体的内容

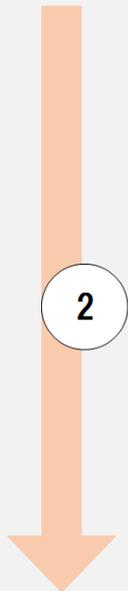
- ①策定から9年が経過した「湘南ふじさわ下水道ビジョン」の見直し
- ②今後の下水道使用料のあり方を踏まえた事業収支計画（「中・短期経営計画」）の策定



## 令和3年度

11月1日 ①「下水道ビジョンの見直しについて」答申

- 1 「ふじさわ下水道ビジョン」について
  - ・計画期間：2022年（令和5年）から2042年（令和24年）までの20年間
  - ・基本理念：「湘南のひかり輝く海・まちを 未来へつなぐ下水道」
  - ・基本方針：「これからの下水道の役割」と「課題解決の方向性」から4つのテーマ別に基本的な方針を定めた。
  - ・施策：具体的に取り組む計画や戦略などを15の施策として設定した。
  - ・推進方策：ビジョンを実現するために、4つの考え方を定めた。



## 令和4年度

9月27日 ②「中期経営計画の策定及び下水道使用料のあり方について」答申

- 1 「ふじさわ下水道中期経営計画（案）」の策定について
  - ・計画期間：2022年（令和5年）から2032年（令和14年）までの10年間
  - ・経営目標：「職員の経営意識の徹底と、コスト～事業効果～リスクのバランスを考慮した事業運営により、独立採算制を原則とする健全経営の持続を図ります」
  - ・経営期間におけるテーマ：「老朽化対策を軌道にのせる10年とする」
  - ・事業計画：達成目標を示し、具体的な取組と年次計画を定めた。
  - ・収支計画：長期20年間の財政状況を見通したうえで、10年間の収支計画を定めた。
  - ・進行管理：PDCAサイクルを確立し、評価公表から「下水道の見える化」を推進する。
- 2 下水道使用料のあり方について
  - 【下水道使用料のあり方基本方針とその対応】
    - 1 持続性・安定的に使用料収入を確保するため、固定費算入率を40%に向上する。
    - 2 利用者間の公平性を確保するため、累進度を3.93とする。
    - 3 わかりやすい使用料体系とするため、引き続き二部使用料制を採用し、8m<sup>3</sup>までを基本水量とする。
  - 【下水道使用料体系（改定案）】
    - ・今回の見直しによる下水道使用料の平均改定率は12.7%